平成14年11月15日

各 位

株式会社UFJホールディングス

中小企業向け貸出の今後の取り組みについて

UFJグループは、平成13年度の「経営の健全化のための計画」における中小企業向け貸出の目標未達成等に係る業務改善命令を受け、本日、「業務改善計画」を金融庁宛に提出いたしました。業務改善命令を命じられたことについては誠に遺憾であり、真摯に受け止めております。

今後、当グループは、従来からの施策内容の充実を図ると同時に、「業務改善計画」に記載した下記の「組織体制の整備」「信用供与の増強」「管理体制の強化」「具体的施策の取り組み」について、その内容を着実に履行してまいります。

これにより、「金融機能の早期健全化のための緊急処置に関する法律」における「資金貸付けその他信用供与の円滑化」の趣旨に沿った方策について、グループ一丸となって取り組んでまいり所存であり、平成14年度健全化計画の中小企業向け貸出目標達成に向けて最大限の努力を図ってまいります。

本件に関するお問い合わせ先

UFJホールディングス 広報部

03 - 3212 - 5460

業務改善計画の概要

組織体制の整備

健全化計画におけるグループの中小企業向け貸出目標を達成するため、管理体制の再構築を図ります。

- ・ グループ管理組織の設置

UFJ銀行・UFJ信託銀行合算のグループ全体実績・達成状況を管理し、必要な施策を実施するため新たな組織を設置し、グループの推進体制を強化いたします。

組織名：「グループ中小企業向け貸出推進会議」
議長：UFJホールディングス社長
構成員：UFJ銀行頭取、UFJ信託銀行社長、
その他、3社の関係役職員により構成

本会議を中心とし、経営主導の体制により目標達成のための施策について責任をもって展開いたします。

なお、本会議は、UFJ銀行・UFJ信託銀行に同時に設置する下部組織と連携を密にした運営を行ってまいります。

信用供与の増強

信用供与の増強に向けた内部体制見直しを進めることで、企業に対する円滑な資金供給に努めてまいります。

- ・ 与信体制の見直し

企業の資金ニーズへの対応を迅速化するため、営業拠点長の与信権限上限を見直して審査のスピード化を図ります。

- ・ 与信運営方針の徹底

リスク分散によるポートフォリオ管理手法の確立を図ると同時に、「中小企業向け貸出増強」及び「リスクテイク力の強化を通じた貸出案件発掘の推進」を本年度下期の与信運営方針として掲げ、これを徹底してまいります。

管理体制の強化

中小企業向け貸出達成状況等の管理をより厳密に実施するため、従来よりも一層きめ細かい管理尺度を導入してまいります。

- ・ 明確な貸出目標の設定

従来の「中堅・中小企業」区分による貸出目標に加え、新たに中小企業向け貸出残高と直接に結びつく目標を営業拠点毎に設定いたします。また、この設定目標についても月次で達成度を営業拠点に還元し、営業拠点・本部において計画の進捗状況を共有することで管理強化を図ってまいります。

- ・ 業績評価制度の活用

営業拠点の業績評価につきましても、中小企業向け貸出残高にリンクする目標設定にあわせ、中小企業向け貸出の取り組み状況や新規獲得状況を評価項目として新たに設定いたしました。これにより営業拠点の取り組みマインドの向上を図り、目標達成への取り組みを一層強化いたします。

- ・ 進捗状況の管理

新たに中小企業向け貸出目標を設定したことに伴い、この計数実績も営業拠点へ月次で還元してまいります。これにより営業拠点・本部において進捗状況が共有できる体制となり、従来以上のきめ細かい進捗管理を実施いたします。

具体的施策の取り組み

商品面の充実等の具体的な施策により、企業の資金ニーズに積極的に対応してまいります。

- ・ 新規取引先獲得に向けた取り組み

新規取引先獲得を商品面から支援するため、「新規先専用UF」固定金利ファンド」を新たに14年9月に設定いたしました。優良新規中小企業向け取引獲得に向けた商品として展開してまいります。

- ・ 成長企業の育成・支援

今後の成長が期待でき、IPO（新規株式公開）を展望できる成長企業を対象とする資金供与支援のツールとして「成長支援与信制度」を14年9月に新設いたしました。これにより、有望ではあるもののリスクの高い事業を営む成長企業の事業力評価に本部が積極的に関与し与信の採択に結び付けることが可能となります。

- ・ 各種ファンドの設定

新規取引先獲得に向けた取り組みとしての上述の「新規先専用UFJ固定金利ファンド」のほか、新たに「中小企業向け専用ファンド」を設定いたします。また、ポートフォリオ分散を前提とした新しいファンドの組成開発も検討してまいります。

- ・ 中堅中小企業向け貸出商品（CLO）の推進

証券化手法を利用することで既存貸出のスプレッドを低下させずに低利資金を供給できる中堅中小企業向け貸出商品（CLO）の取り扱いを14年8月から開始いたしました。14年度上期において1千億円の中小企業向け貸出の実績をあげることができました。本商品を競争力のある金利を呈示することで貸出シェアアップ・新規取引先獲得を推進するための戦略商品と位置付け、下期におきましても引き続き積極的に推進してまいります。

- ・ 信用保証協会保証制度活用による資金供給への取組み

中小企業との取引基盤を拡大し、資金調達の円滑化に対応するため、信用保証協会保証制度を積極的に活用してまいります。

- ・ 私募債の積極推進

中小企業向けの円滑な資金供給の一環として、私募債についても重要商品の一つとして位置付け、商品性の向上を図り、積極的に推進してまいります。

- ・ 信託機能の提供

優良企業を同一債務者とする複数の債権者（主に中堅・中小企業）から売掛債権を受託し、受益権の販売代金を支払うスキーム（一括支払信託）により、中堅・中小企業に対して資金提供してまいります。

以 上